

植栽整備をしました(その 1)

ながく手つかずであった、清水御門周辺の森林の中にある危険木や景觀支障木を整理しました。これにより、神社の正面空間や庭園景觀が往時の姿に近づきました。

事業を行った森林は名勝指定地内であるため、庭園を毀損しないよう特殊な伐採方法で実施しました。また、事業を通して町内の小学生(森中央小学校 5 年生・古後小学校・小田小学校)が森林環境や文化財について学びました。

この事業は森林環境贈与税を活用しました。庭園内には、ほかにも未整備の森林があります。神社や庭園の景觀回復を図るため、継続した植栽整理が必要になります。



清水御門周辺 伐採前



清水御門周辺 伐採後



森林環境教育(小田小学校)

植栽整備をしました(その 2)

三島公園の童話碑付近には森藩の陣屋がありました。当時、ここから丘陵を見上げると栖鳳楼が見えていました。

しかし、時間の経過とともに樹木が生い茂り、栖鳳楼を覆い隠してしまいました。覆い隠した樹木は庭園の景観樹木でもあるため、単に伐採すればよいというものではありません。

この事業でも庭園を毀損しないよう特殊な伐採技術を用い、景観支障木の伐採と透かし剪定を行いました。



童話碑から見た栖鳳楼 伐採前



童話碑から見た栖鳳楼 伐採後